

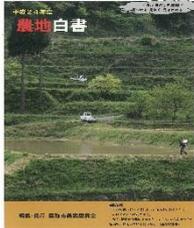
平成25年度 とっとり「農地白書」

《総集編》

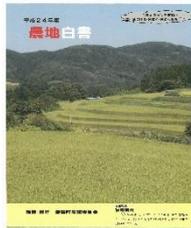
農地メッセージ
「表紙は語る」

東部

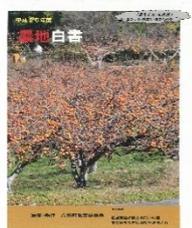
鳥取市



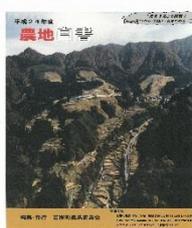
岩美町



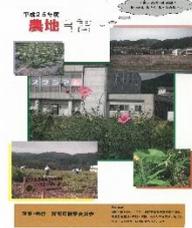
八頭町



若桜町



智頭町



中部

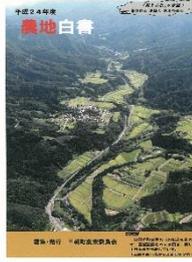
倉吉市



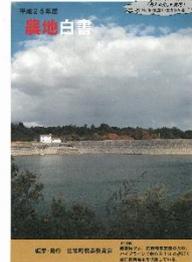
湯梨浜町



三朝町



北栄町



琴浦町



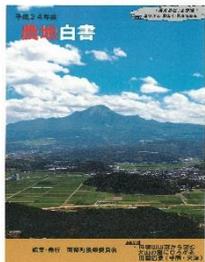
米子市



境港市



南部町



伯耆町



西部

日吉津村



大山町



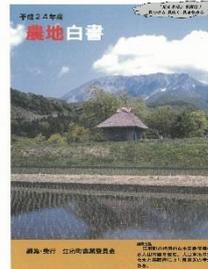
日南町



日野町



江府町



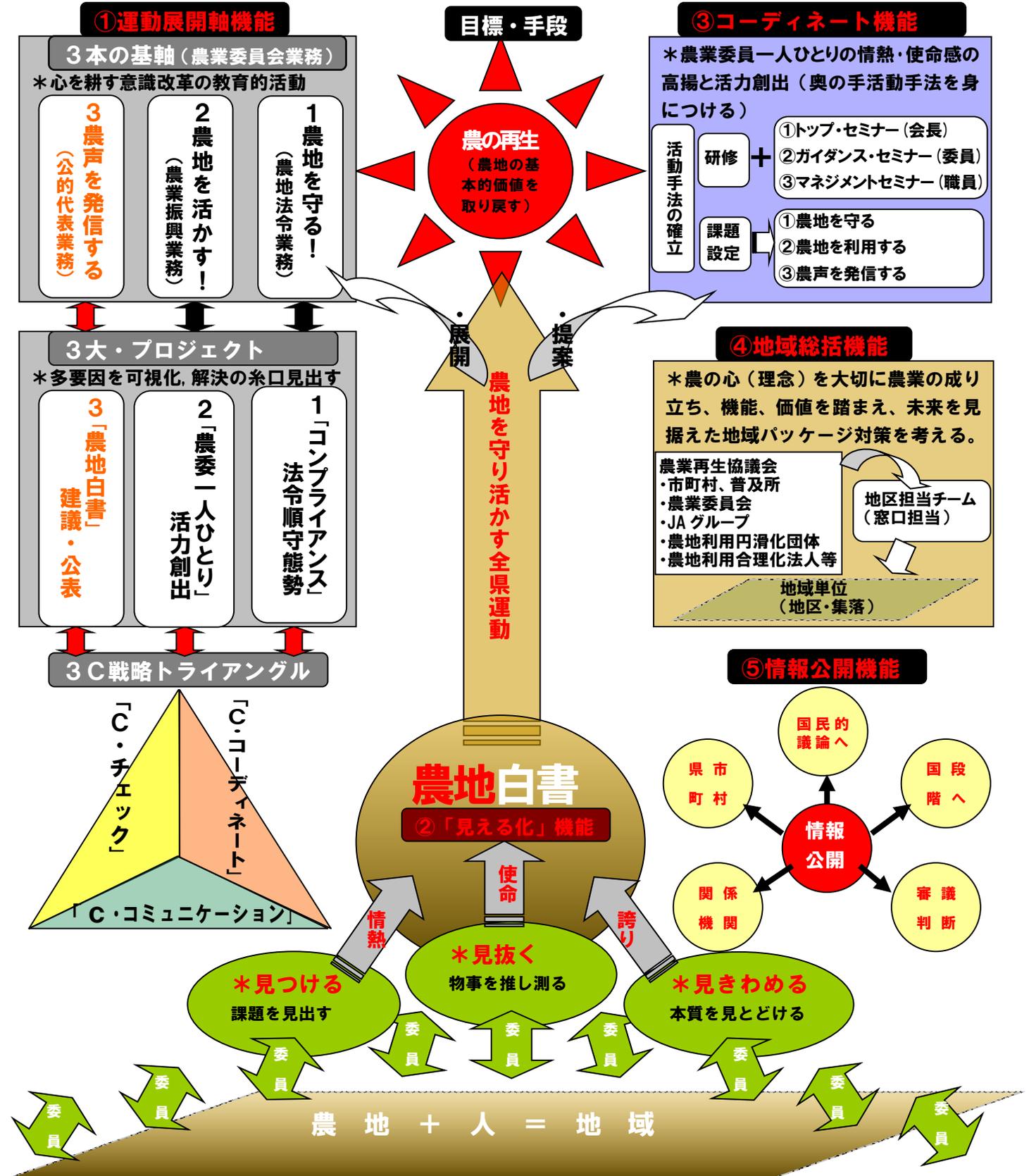
平成26年3月

鳥取県農業委員会系統組織 (市町村農業委員会・鳥取県農業会議)

§「農地白書」とは

～農地を守り活かす運動の要に～

「農地白書」は“農地を守り活かす全県運動”3大プロジェクトの一環。地域の「広がり」には、自治、政治、社会、歴史、文化、慣習から住民の日常的な衣食住に至るまで、そこに生きる人びとの振舞いにもみるく見える動き」と共に、人びとの考え方や行動の原点となる深層での「見えない動き」がある。そのすべてを農業委員活動を介して白書に紹介し、『見える化』を目指すものである。



目 次

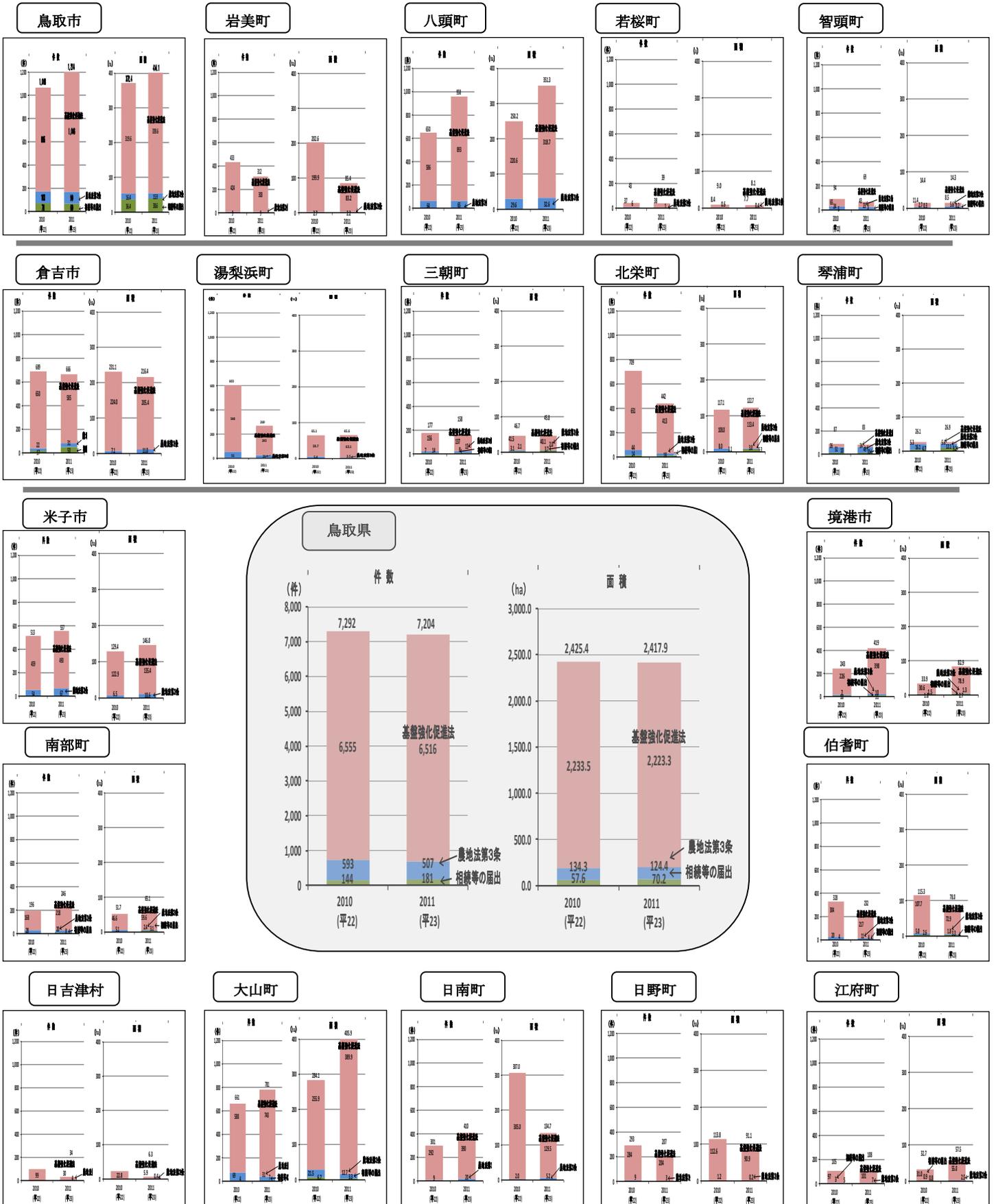
農地メッセージ「表紙は語る」	表 紙
§「農地白書」のあらまし	
図 1-1 農地の権利移動等の動向（農地の権利移動）	1
図 1-2 “ （農地転用）	2
図 2 遊休農地発生防止・解消の動向	3
図 3 農地の利用集積の動向	4
図 4 農地筆数及び 1 筆平均面積	5
図 5 米の生産調整（転作作物別）の動向	6
図 6 水張り水田（保全）の動向	7
図 7-1 中山間地域等直接支払制度への取組みの動向	8
図 7-2 “	9
§「農地白書」から提案	10
農業の風土「シンボル花木に見る」	背 表 紙

農業委員会活動

図1-1 農地の権利移動等の動向（農地の権利移動）

～県全体の権利設定は、ほぼ横ばい

市町村ごとに見ると鳥取市・八頭町・米子市・境港市・大山町が増加。岩美町・日南町は減少～

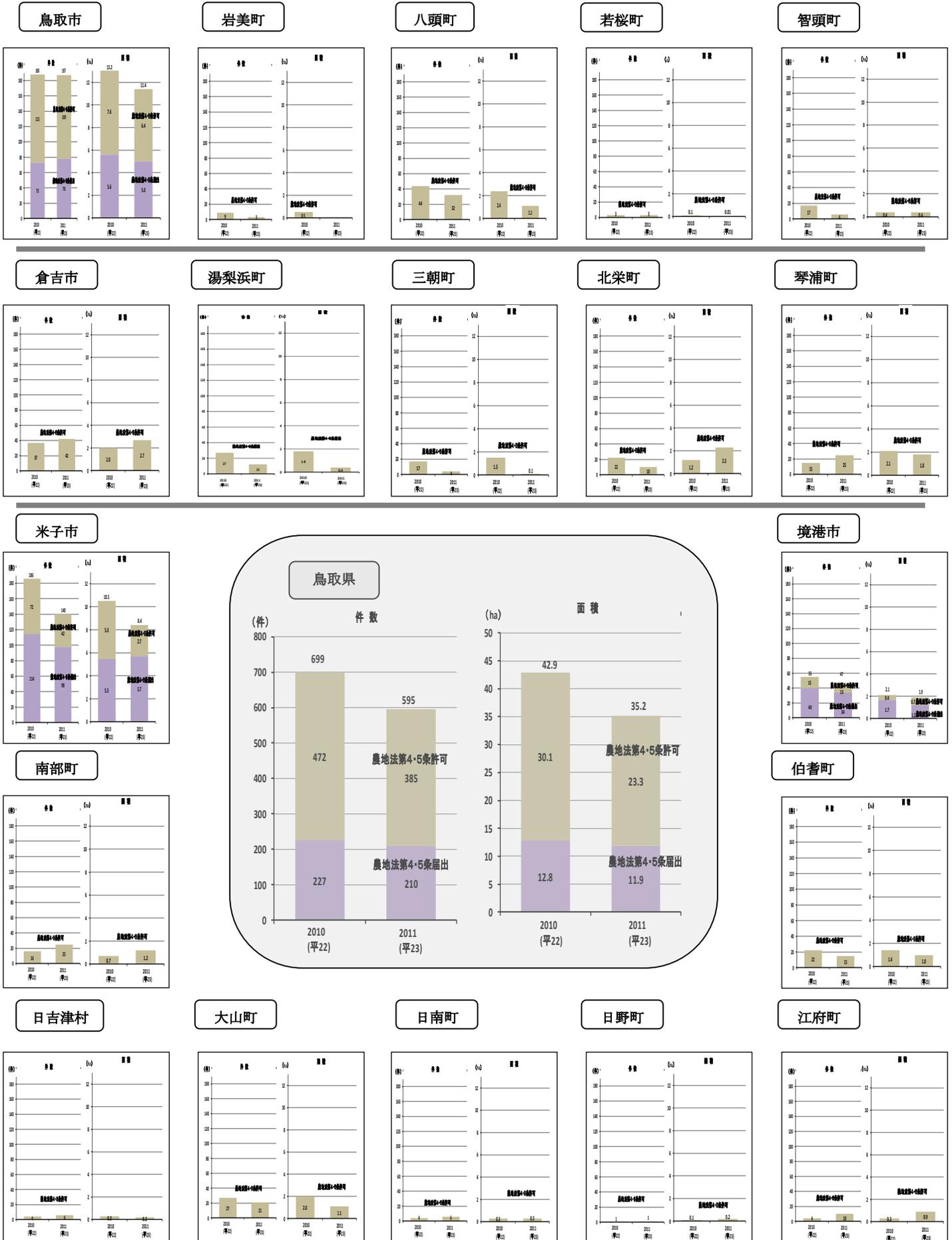


資料：【農業委員会活動整理カード】

農林水産省 「農地権利移動・借賃等調査結果」

図1-2 農地の権利移動等の動向（農地転用）

～県全体で転用件数・面積ともに前年から減少しているが、倉吉市・北栄町は増加～

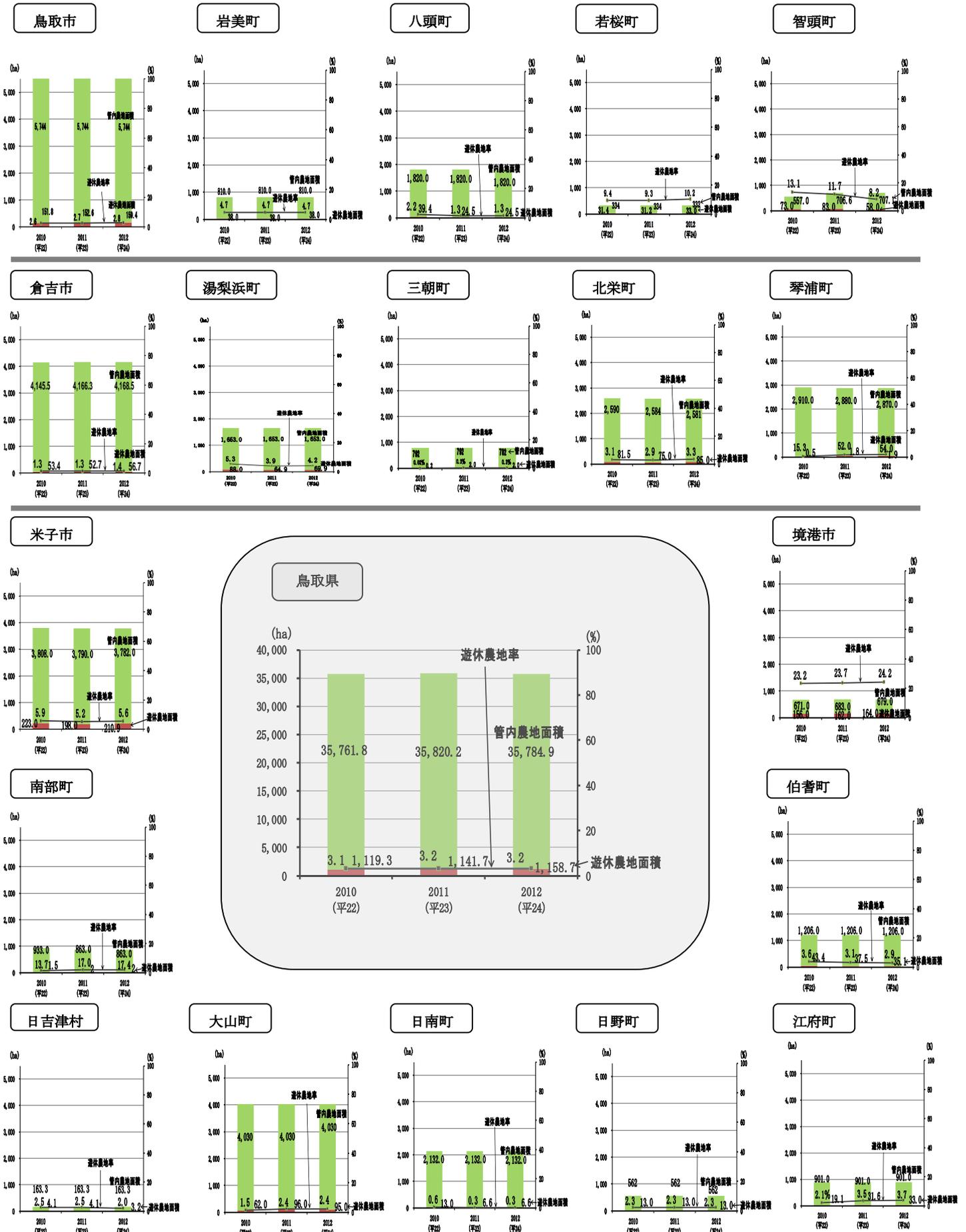


資料：【農業委員会活動整理カード】

農林水産省 「農地権利移動・借賃等調査結果」

図2 遊休農地発生防止・解消の動向

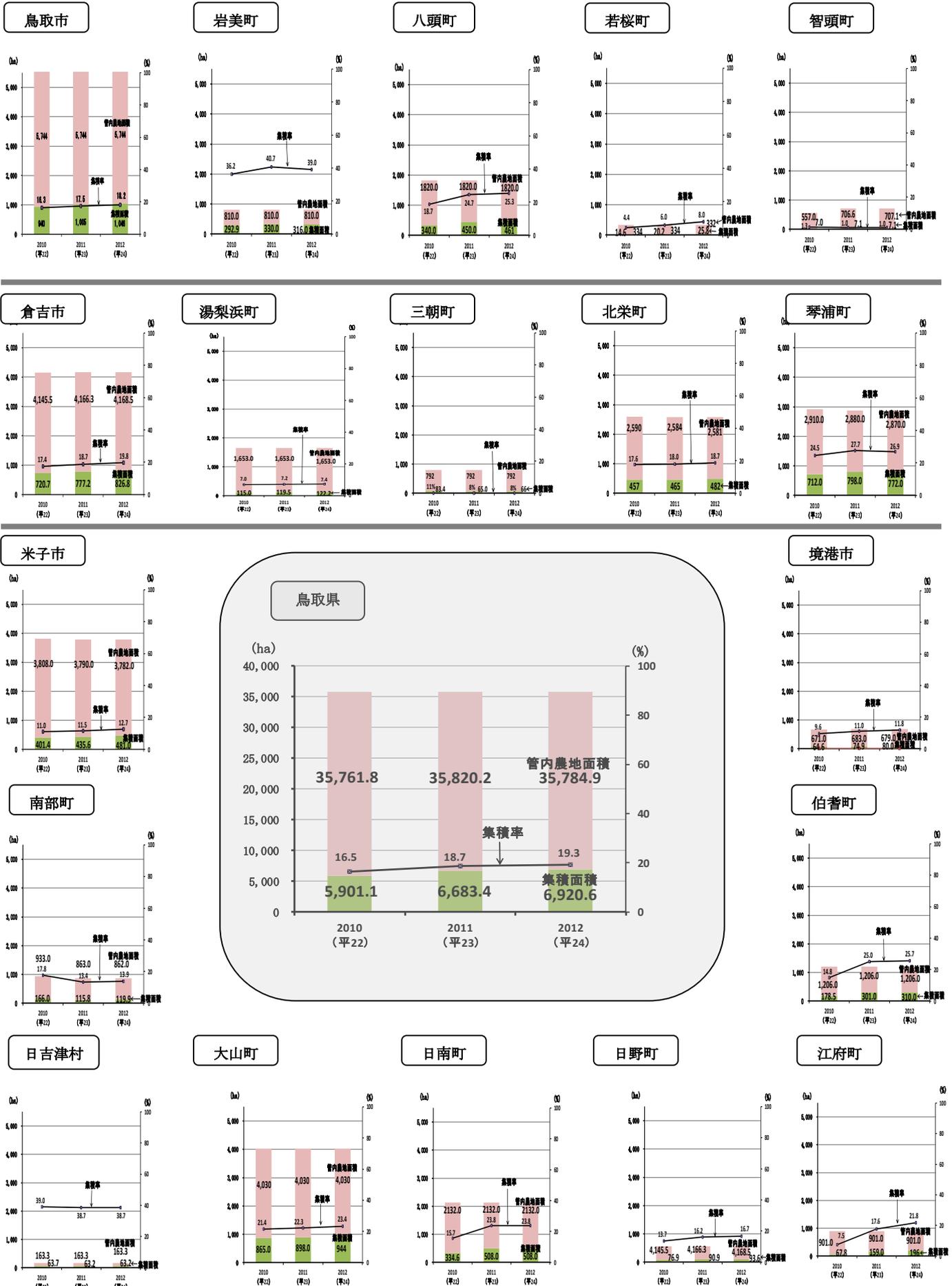
～遊休農地は、ほぼ横ばいで推移。解消されても新たな発生もあり遊休農地の減少に至らず～



資料：【農業委員会活動整理カード】

図3 農地の利用集積の動向

～県で約20%の集積。これを上回る市町村は、倉吉市・岩美町・八頭町・琴浦町・大山町
日南町・江府町～



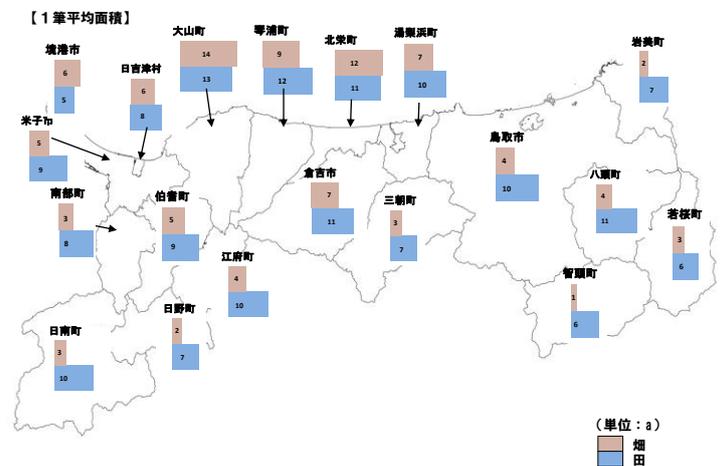
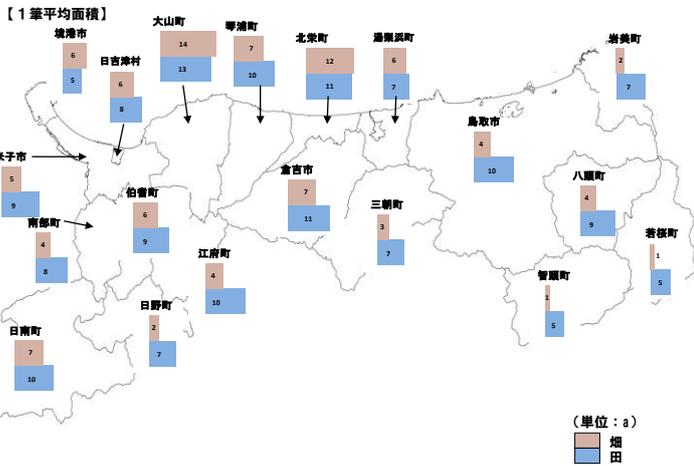
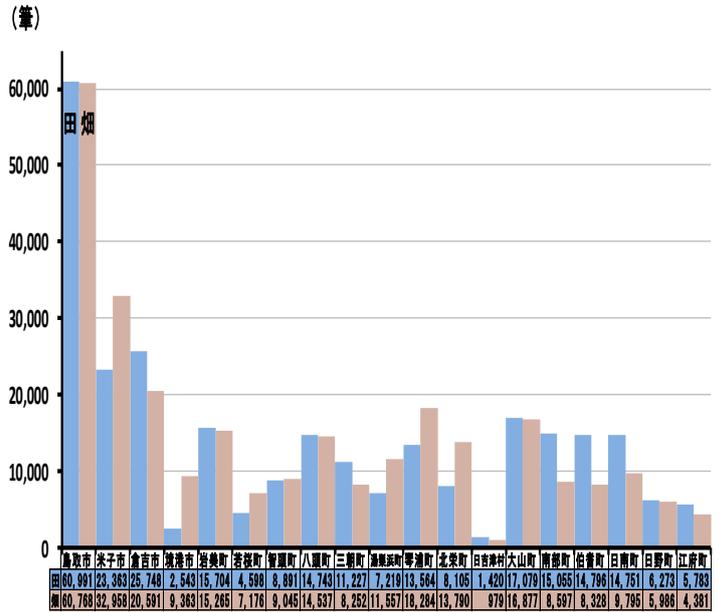
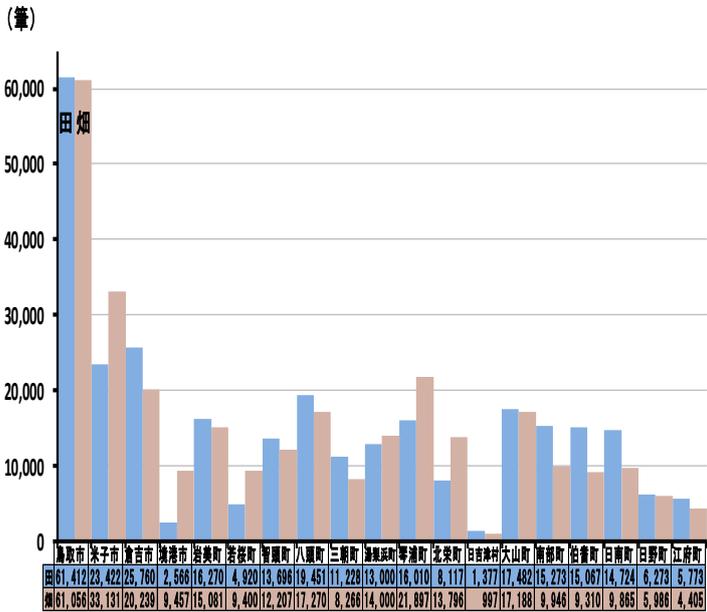
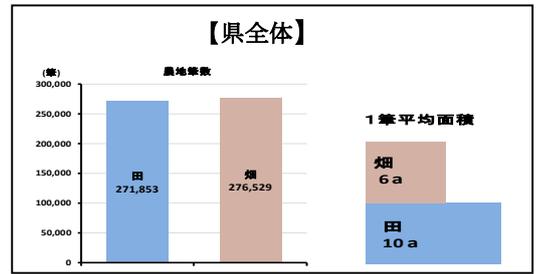
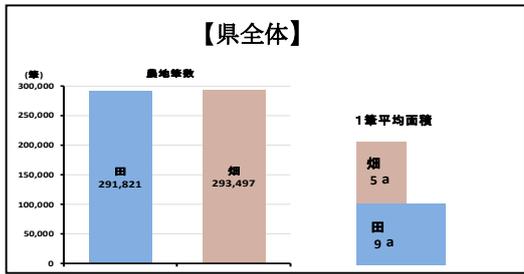
資料：【農業委員会活動整理カード】

図4 農地筆数及び1筆平均面積

～昨年58.5千筆で今年が54.8千筆。県全体で1年間に37,000筆減少
全市町村で筆数・面積が減少～

【24年度】

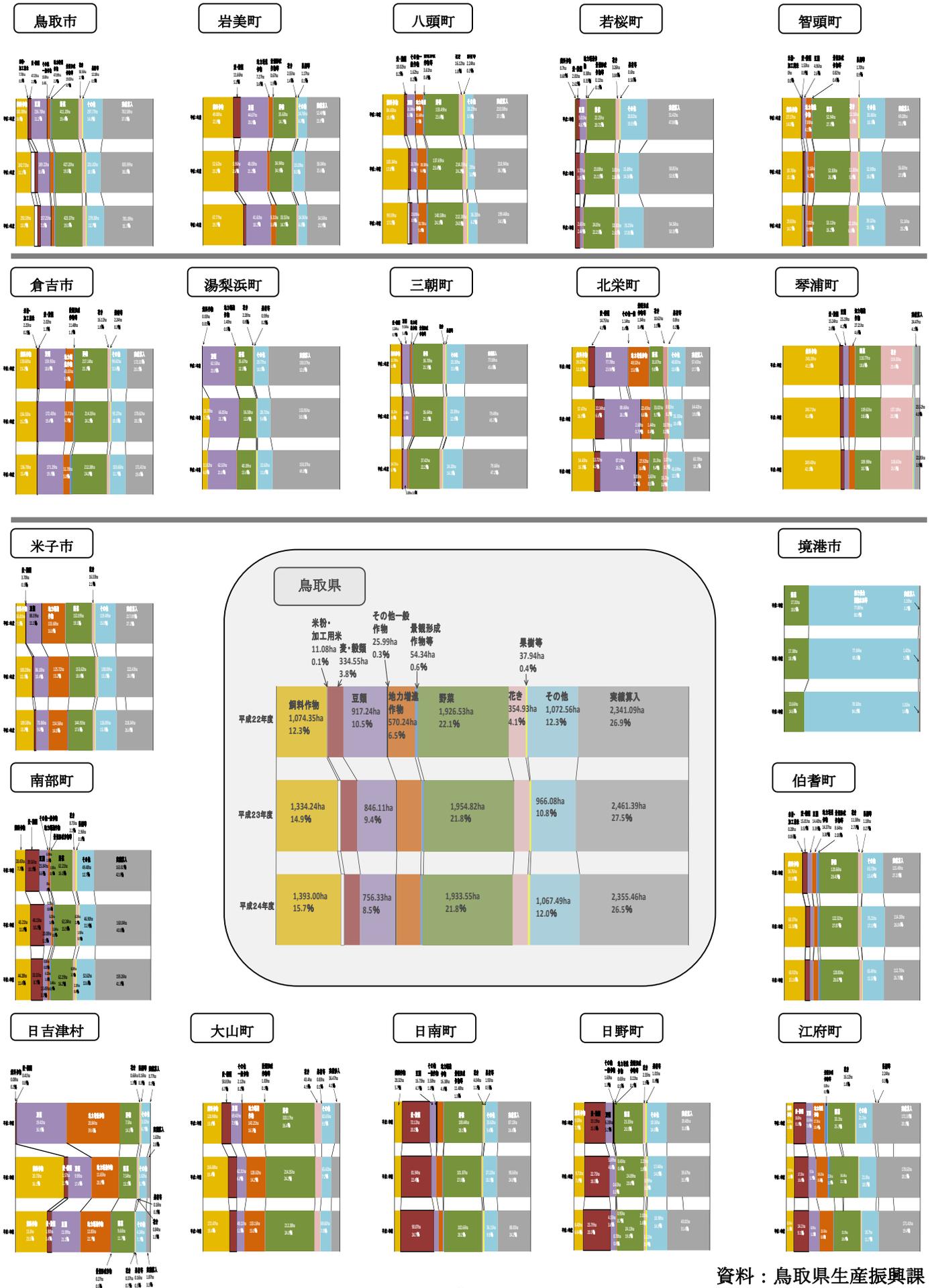
【25年度】



資料：農業委員会

図5 米の生産調整(転作作物別)の動向

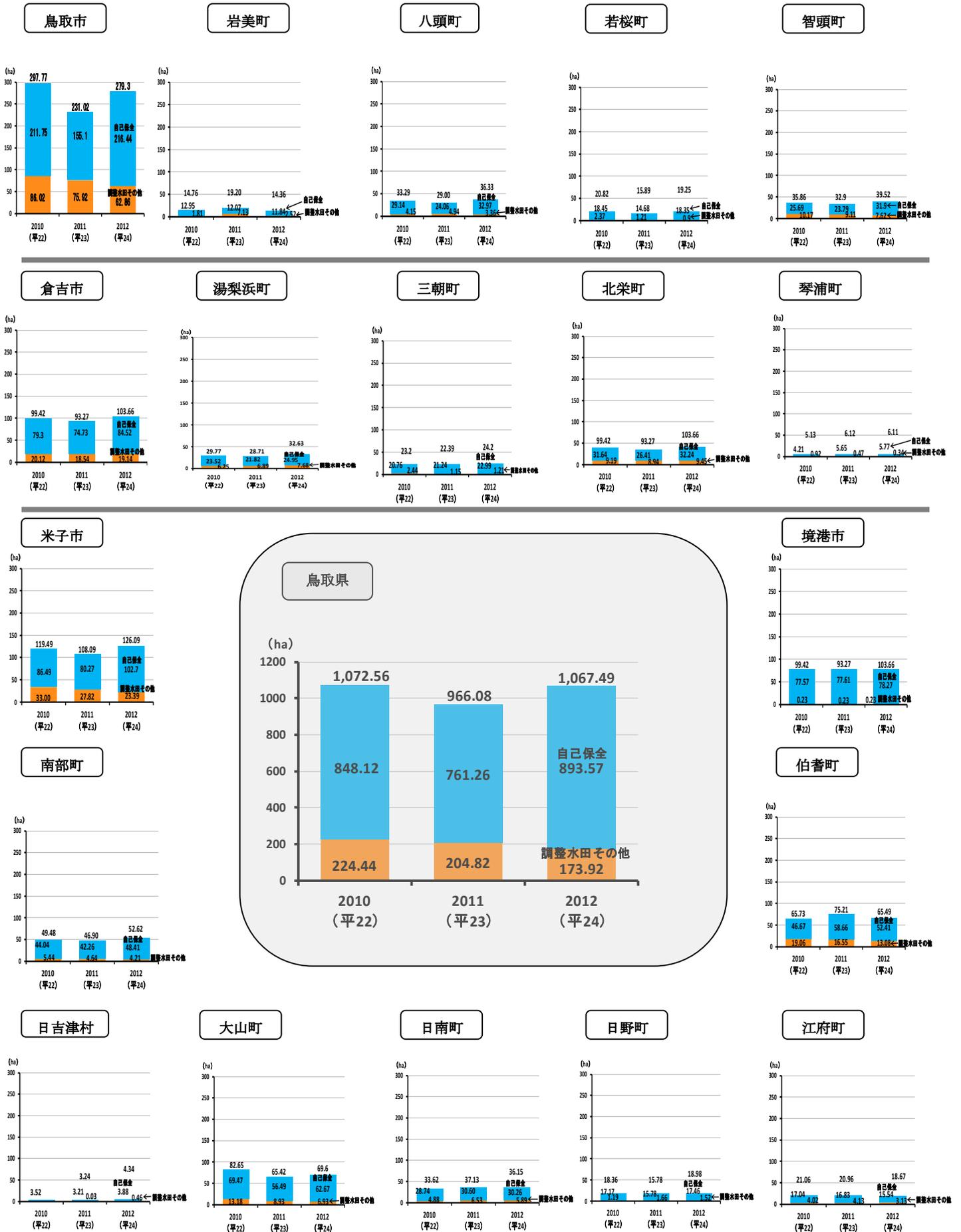
～年々着実に飼料作物が増加。特に鳥取市・岩美町・琴浦町が増加～



資料：鳥取県生産振興課

図6 水張り水田(保全)の動向

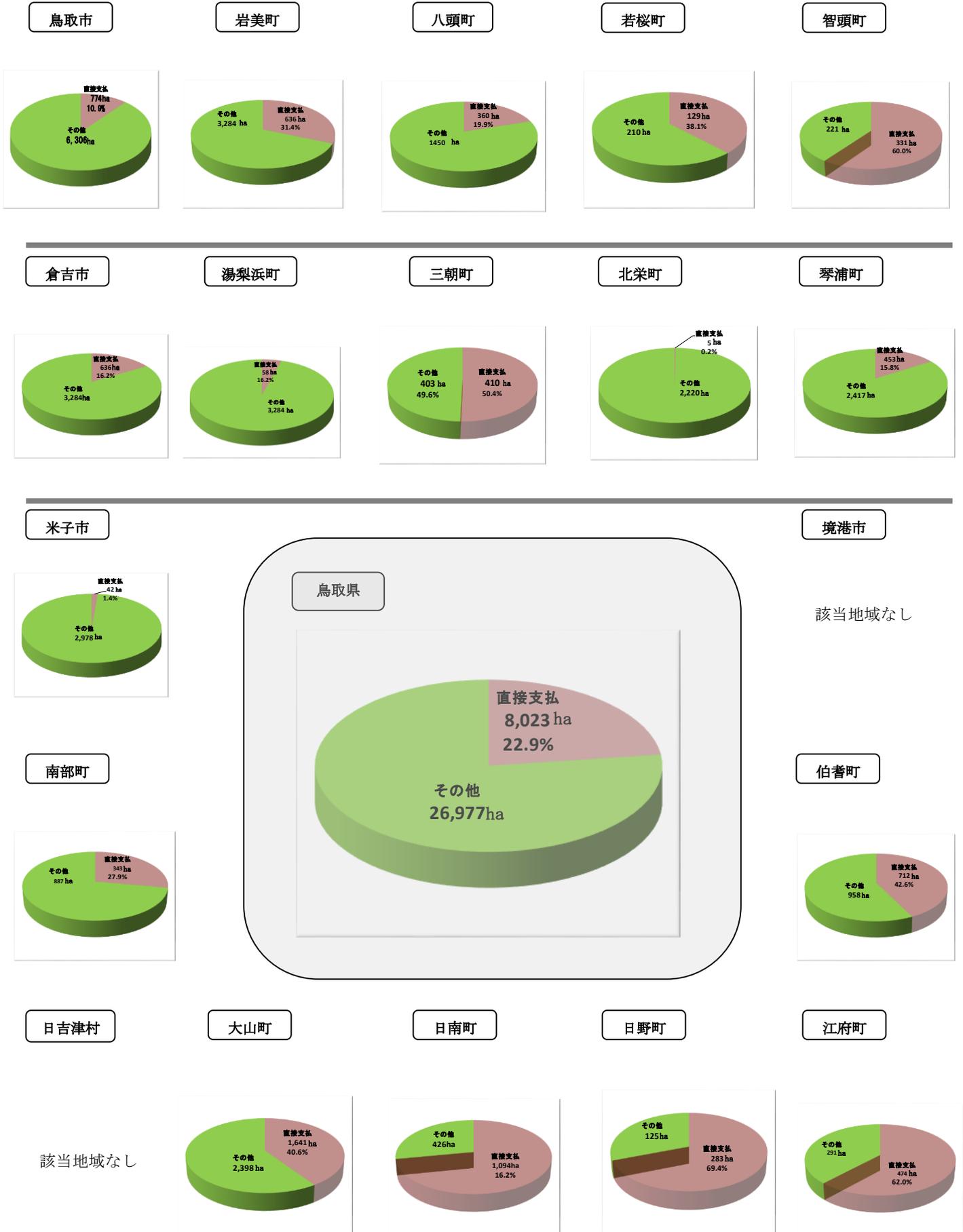
～自己保全是、ほぼ横ばいで推移～



資料：鳥取県生産振興課

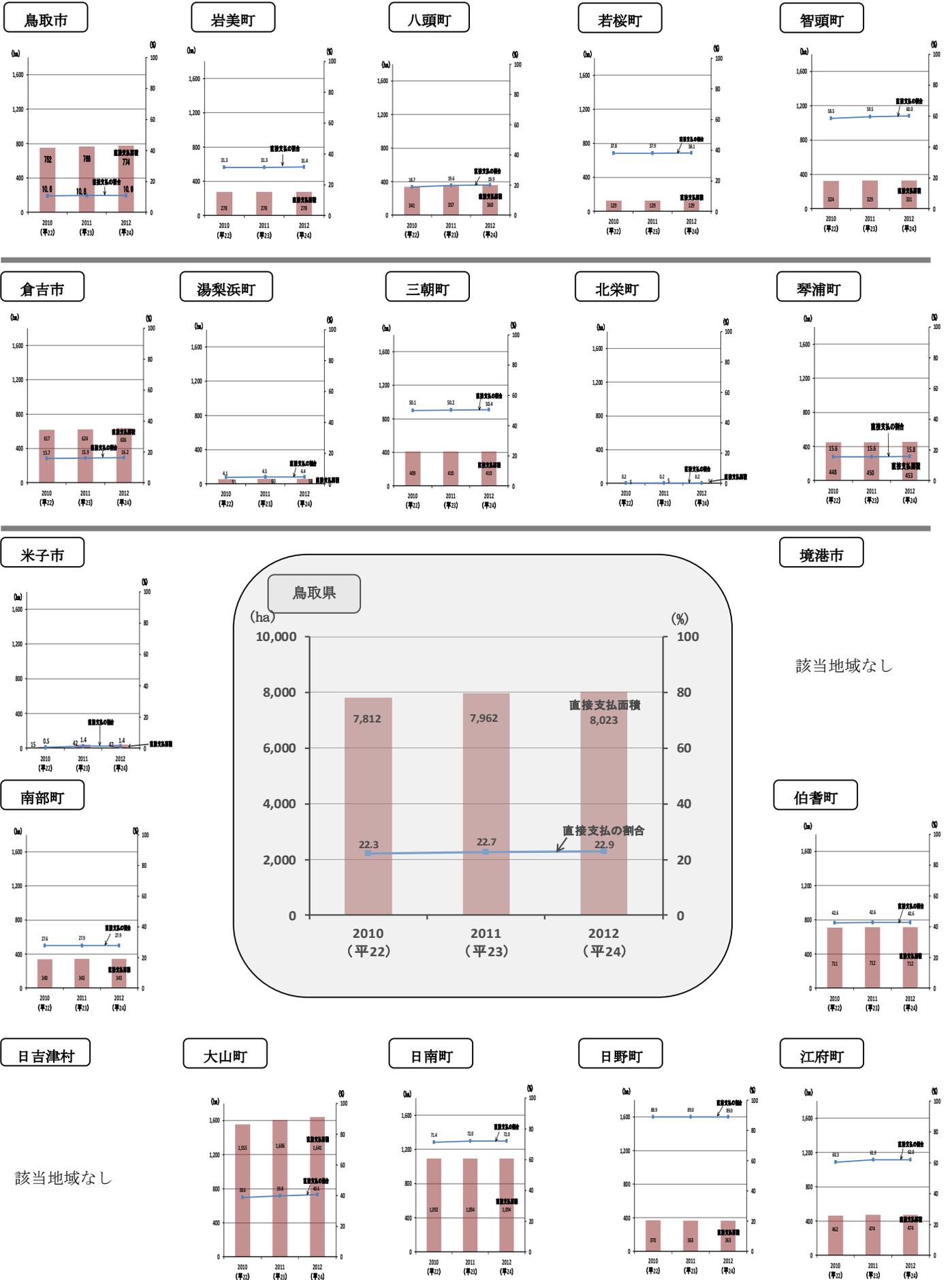
図7-1 中山間地域等直接支払制度への取組みの動向

～県全体のカバー率は約23%。遊休農地化へ一定の歯止めをかけている～



資料：鳥取県農地・水保全課

図7-2 中山間地域等直接支払制度への取組みの動向
 ~過去3年間一定の地域で制度利用が図られている~



§ まとめ 「農地白書」が見いだす「農」の進路

【「農地白書」5つの機能】 ～目的ではなく、手段～

- ① 『運動展開軸機能』⇒農地守る・活かす・農声発信 = 啓発(全国運動)から実践(現場定着)
- ② 『見える化機能』⇒見つける・見抜く・見きわめる = 現実を複眼的・立体的に直視
- ③ 『コーディネート機能』⇒聴く・伝える・待つ心 = 役割明確化・活動手法確立(誇り・情熱・使命)
- ④ 『地域総括機能』⇒つづ(継)・つなぐ(繋)・つらね(連)つなげる = 点(個・家) + 線(組織) + 面(地域)
- ⑤ 『情報公開機能』⇒建議、公表(メディア戦略) = 情報回路網(国民的議論へ)

課題

提案

農地力
水土里

農地の公共性(国益)を考える

- 課題1:** 食料供給機能に対する国民理解が不十分
★特に米の消費(産出額)は減少し、水田機能低下
★一方、野菜が増える傾向にあり、所要労力の限界から遊休農地が増加
- 課題2:** 農業就業人口(産業別就業者の割合)は減少し、働き場(就業創出機能)が喪失
★とくに副業農業者(家事守る主婦、生き甲斐高齢者)のパート収入を直撃
- 課題3:** 多面的機能(環境保全)は根底から崩壊
★現行の中山間地直接支払い制度の評価は高い
★鳥獣被害は山間地の耕作断念要因のトップ

農地資源のポテンシャル見いだす

将来を見据え、地域を丸ごと考える

- 提言1:** 食料自給率・力(食料安全保障)について国民に広くオープン(情報提供)して議論すべき
* TPP問題の国民的議論の深化
* 米需要拡大の研究開発の促進
- 提言2:** 人口対策、定住対策に結び付いた地域総合的農業政策の構築
* 「半農半X」型就農の位置づけ
- 提言3:** 日本型直接支払いの拡充
* 条件不利格差の是正
* 鳥獣被害対策の国の積極的関与

社会政策

労働力
職業観

農地の利用調整を考える

- 課題1:** 農地の出し手市場(土地持ち非農家等)の急増により農地荒廃、水路・農道等の悪影響
★農地管理を農地所有者に課することが現実的に困難
★不動産登記は任意であるため、登記漏れが多く、中には土地所有者も不明化(データ照合も困難)
- 課題2:** 農地の耕作者・利用者の義務と権利調整が難しくなっている
★農地整備費や水利経費など維持経費の負担者根拠の公平・公正性をどう確保するか懸念
- 課題3:** 20年、30年先の農業就業人口推定(世代交代)では、農地はとて維持できないことが予想

土地・労働生産性の向上を図る

農業労働の量的確保と質的改善を考える

- 課題4:** 農作業事故の多発をはじめ、農業労働の3K(きつい、汚い、危険)など労働管理が問われる
★「家族農業」は世帯固有の特質
- 課題5:** 農業を支える基層部分が大きく階層分化
★地域共同・協同・協働の希薄化

指導力
姿勢

何をどうすべきかを考える

- 課題1:** 委員会事務局職員の人員減に加え、兼務、異動が激しく専門業務に支障
- 課題2:** 農業委員としての使命感や自覚、活動の方法・展開などの修得・能力に委員間差が大きく、農委活動実効の隘路となっている
* 研修の形骸化
- 課題3:** 農業委員数の減と女性委員の伸び止まり
* 町村合併に伴う定数減、なかでも選任委員減による女性委員の減少幅51人(H14)⇒29人(H23)は大きい(仮に、選任枠91人全員が女性であっても割合は22%である)

協働・連携調整の手法を確立する

農の理念(こころ)を取り戻す

- 提言1:** 農地遊休化「負」の連鎖要因の徹底分析
★非農地判定と事後指導の円滑化
★中間保有の国・地方自治体の実施責任を担うべき
★農地取得⇄届出システム化(地籍、固定資産台帳等)
★パトロール(農地の大切さ考える月間)
- 提言2:** 農地政策の法律・制度運用の体系化と関係機関団体の機能分担の明確化
★中心となる経営体、認定農業者への農地集積する政策手法の確立
- 提言3:** 家の跡取り(定年退職者)や家庭主婦労働の位置づけ

農業型わが家の労働基準の設定

- 提言4:** 農業労働管理指導の専門職員の配置と指導基準の作成が緊要
★労働基準法による農業特殊性は労働時間のみ
- 提言5:** 援農休暇制度(仮称)の創設検討
★災害時、農繁期等の労働力補完システム(援農隊、労働銀行、作業受委託等) 参考: 育児介護休暇

チェック、コーディネート&コミュニケーション戦略

- 提言1:** スペシャリスト職員採用・養成
★農地主事、資格等の検討
- 提言2:** 農業スーパー委員の醸成
* 農業委員の役割の明確化と活動手法の確立
* 知識・理論よりも普及指導員・営農指導員等と同じく、教育的手法の導入とセミナーやプロジェクト活動、農地白書(現状把握分析)等を定着させる
- 提言3:** 男女共同参画の基本理念に基づき、選任枠の拡大及び担当・比例別選挙制度等の検討
* 現行の選挙制度は実質担当地区重視の小地区制となり女性の登用機会が少なく、抜本改革が必要

農業風土「シンボル花木に見る」

鳥取市の花
らっきょうの花



岩美町の花
かきつばた



八頭町の木
柿



若桜町の木
桜



智頭町の花
どうだんつつじ



倉吉市の花
つつじ



湯梨浜町の木
梨



三朝町の花
ホンシヤクナゲ



北栄町の花
浜昼顔(ハマヒルカ)〇



琴浦の花
サクラ



米子市の花
ツツジ



南部町の木
柿



鳥取県

シンボル花木は、水と緑とすばらしい景観特性をもち、
農業とは無関係ではない

シンボル鳥取県の 花
【二十世紀梨】

日本で栽培されているナシは野生のヤマナシを改良育成したもの(バラ科ナシ属)鳥取県の産業・生活などとの関係が深く、県民に広く愛され親しまれている花として昭和29年に選定された。

鳥取県の 木
【ダイセンキャラボク】

キャラボクはイチイの変種(イチイ科イチイ属)大山の山頂部にはキャラボクの大群落があり、このキャラボクは「ダイセンキャラボク純林」として国の天然記念物に指定されている。

境港市の花
菊



伯耆町の花
菜の花



日吉津村の花
チューリップ



大山町の特産野菜
ブロッコリー



日南町の花
サツキ



日野町の花
ツツジ



江府町の花
アヤメ



【事務局】鳥取県農業会議
 住 所 〒680-8570
 鳥取市東町1丁目 271 番地 鳥取県庁第2庁舎(8階)
 電 話 0857(26)8371~3(直)
 F A X 0857(29)4867 E-mail 31kaigi@nca.or.jp